PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference FADT0417PCT	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below			
International application No. PCT/JP2005/000933	International filing date (day/month/year) 19 January 2005 (19.01.2005)	Priority date (day/month/year) 30 January 2004 (30.01.2004)			
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237					
Applicant ADVANTEST Corporation					

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).					
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	3. This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I	Basis of the report				
	Вох №. П	Priority				
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability				
	Box No. IV	Lack of unity of invention				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the international application				
	Box No. VIII	Certain observations on the international application				
4.	 The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2). 					
			Date of issuance of this report			
			31 July 2006 (31.07.2006)			
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland		lombettes	Authorized officer Yoshiko Kuwahara			
Facsimile No. +41 22 338 82 70			e-mail: pt07@wipo.int			

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

a

出願人代理人 和田 益稔 あて名 〒 107-0052 日本国東京都港区赤坂二丁目17番22号 赤坂ツ インタワー本館11F	様 WIPO PCT 国際調査機関の見解符 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1] 発送日 (日.月.年) 12.4.2005				
出願人又は代理人 の告類記号 FADT0417PCT	今後の手続きについては、下記2を参照すること。				
国際出願番号 国際出願日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	優先日 19.01.2005 (日.月.年) 30.01.2004				
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ G01R 2	5/00 , G01R 23/20				
出願人 (氏名又は名称) 株式会社アドバンテスト					
1. この見解哲は次の内容を含む。 図 第 I 欄 見解の基礎					
2. 今後の手続き 国際予備審査の簡求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。					
この見解也が上記のように国際予備審査機関の見解告とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満丁する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。					
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。 3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。					
見解告を作成した日 29.03.2005					
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員). 2 S 8 2 0 3 下中 義之 . 電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 5 8				

1.この見解暦は、下	1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。						
この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。							
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解番を作成した。							
a. タイプ	配列表						
	配列表に関連するテーブル						
b. フォーマット	□ 杏面						
	コンピュータ読み取り可能な形式						
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる						
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された						
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された						
3. 立ちに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。							
4. 補足意見:							
4. 補足意見:							
4. 補足意見:							
4. 補足窓見:							
4. 補足意見:							
4. 補足意見:							
4. 補足窓見:							
4. 補足意見:							
4. 補足窓見:							
4. 補足意見:							
4. 補足窓見:							
4. 補足窓見:							

1.

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2005/000933

第V欄 新規性、進歩性又は産菜上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に足める見解、 それを裏付る文献及び説明						
1. 見解 .						
新規性(N)	・	1-17	有 無			
進歩性(IS)	請求の範囲 簡求の範囲 _	1-17	· 有 無			
産業上の利用可	能性(IA) 請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-17	有 無			

2. 文献及び説明

文献1:JP 2002-228694 A (松下電器産業株式会社)

2002.08.14

文献 2: JP 2000-314753 A (三菱電機株式会社)

2000.11.14

文献3:JP 7-229944 A (三菱電機株式会社)

1995. 08. 29

請求の範囲1-17に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。